

31年度予算案のあらまし

現在開催中の第1回区議会定例会で、31年度予算案が審議されます。今号では、予算案のあらましをお知らせします。

予算案の概要は、総合庁舎本館1階区政情報コーナーまたはホームページ(右コード)でご覧になれます。

図財政課(☎5722-9137)

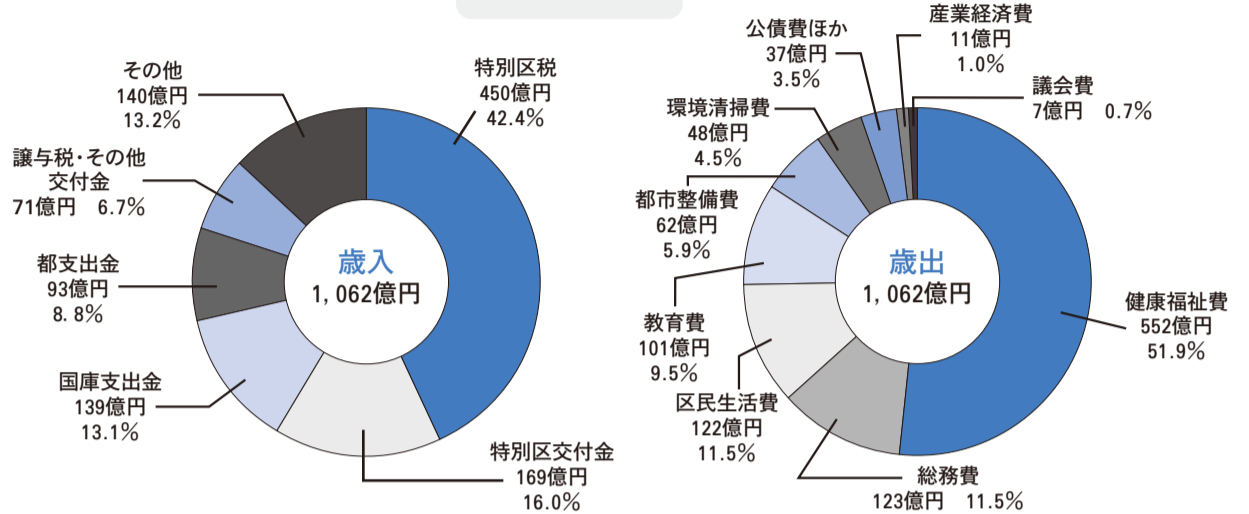


安全・安心を守り支え、未来につなげる予算

31年度予算は、実施計画(30~34年度)の2年目として、計画事業を着実に予算に反映しつつ、安全・安心なまちづくり、子育て支援の充実と教育の振興、福祉の充実と健康づくりの推進、良好で快適な環境と活力あるまちづくりといった課題に対応するため、真に必要な・緊急性の高い事業に重点的に配分しました。

※各図表中の数字は四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります

一般会計



会計別予算額 (単位: 億円、△は減率)

会計区分	30年度	31年度	増減率
一般会計	950.0	1,062.4	11.8%
特別会計	534.2	535.3	0.2%
国民健康保険特別会計	271.9	266.9	△1.8%
後期高齢者医療特別会計	64.9	66.3	2.2%
介護保険特別会計	197.4	202.0	2.4%
合計	1,484.3	1,597.7	7.6%

区の予算の使い道 (一般会計予算を10,000円とした場合)

健康福祉費 5,193円 高齢者・障害があるかたなどの福祉や、子育て支援ほか	総務費 1,153円 防災や安全・安心事業、区施設の維持ほか	区民生活費 1,152円 住民記録や課税・徴収、健康保険、年金ほか
教育費 952円 学校や図書館の運営ほか	都市整備費 587円 公園や道路の整備、不燃化などのまちづくり	環境清掃費 448円 環境対策や清掃事業、リサイクル事業ほか
公債費ほか 347円 基金の積み立てや借入金の償還ほか	産業経済費 99円 中小企業振興や商工振興事業ほか	議会費 69円 議会運営ほか

31年度に重点的に取り組む主な事業

実施計画事業	117億5,628万円
目黒区基本構想で掲げる区の将来像の実現に向けて、30~34年度の5カ年で重点的に取り組む事業のうち、31年度実施分	
◇保育所の待機児童対策の推進(国公有地や賃貸物件などを活用した私立認可保育所の開設支援ほか)	53億3,051万円
◇中央体育館の大規模改修工事	18億4,939万円
◇特別養護老人ホーム、障害者施設等複合施設の整備支援ほか	6億5,210万円
◇児童館・学童保育クラブの拡充整備ほか	3億6,633万円
◇学校のICT(情報通信技術)環境の整備	2億5,051万円
◇自由が丘駅周辺地区の整備	1億5,526万円
◇電線類の地中化	1億723万円
4つの重要課題に沿った重点化対象事業	42億1,534万円
【安全・安心なまちづくり】	
◇ブロック塀等の除却促進(※右記参照)	4,734万円
◇帰宅困難者対策協議会の運営(目黒駅・中目黒駅)	1,330万円
◇緊急医療救護所設置に必要な資機材の整備	1,123万円
【子育て支援の充実と教育の振興】	
◇小学校校舎などを活用した学童保育クラブの整備	1億4,743万円
◇放課後子ども総合プランモデル事業	4,720万円
◇小・中学校体育館への空調設備設置(※右記参照)	3,213万円
◇産後ケア事業(※右記参照)	874万円
【福祉の充実と健康づくりの推進】	
◇東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の機運醸成	7,544万円
◇民間の屋内型喫煙所整備の補助	1,600万円
◇中央体育館リニューアル記念スポーツフェスティバルの開催	500万円
◇認知症ケアプログラム推進事業	300万円
【良好で快適な環境と活力あるまちづくり】	
◇河川の水質改善(水質改善・河川清掃)	2億4,784万円
◇地域コミュニティの活性化に向けた取り組み(町会・自治会会館の修繕費用の一部助成ほか)	506万円
◇行政課題の解決につながる商店街の取り組み支援	333万円
その他の新規・臨時事業	35億6,628万円
◇商店街チャレンジ戦略支援事業(イベントへの補助)の拡充	8,201万円
◇乳がん検診受診券の個別通知(対象年齢拡大も含む)	6,089万円
◇園庭のない保育園の子どもたちを応援する事業(ヒーローバス)	1,494万円
◇新生児聴覚検査費用の一部助成	732万円

新規事業の紹介

産後のお母さんを応援します 産後ケア事業スタート

家族から育児や家事の支援が得られず、身近に相談・協力者がいない家庭が増えていることから、子育て世代の孤立や児童虐待を防止するために包括的・継続的な支援が求められています。

出産後のお母さんが安心して育児できるように、助産師が自宅を訪問して、母子のケアを行う産後ケア事業を開始します。

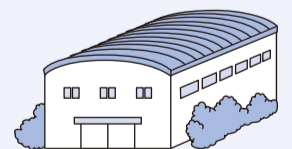
妊娠期のゆりかご・めぐろ事業(妊婦面接やゆりかご応援グッズ配布)、出産後の新生児訪問などの保健事業やその他の子育て支援事業と合わせて、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を充実させます。



小・中学校体育館へ空調設備を設置します

区内の小・中学校体育館は、学校教育や地域開放などのほか、災害時には避難所として使用する施設です。近年の記録的な猛暑により、熱中症対策の必要性が特に高まっています。

熱中症などの健康被害から児童・生徒を守るとともに、災害時避難所等で使う際に暑さや寒さをしのげるよう、区内小・中学校全31校の体育館に空調設備を設置します。



ブロック塀の除却費用を助成します

ブロック塀は個人の財産であるものの、安全性を確認できないブロック塀は、地震などの災害により倒壊すると、人的な被害が生じるだけでなく、避難や消火活動にも支障をきたす恐れがあります。

地震発生時におけるまちの安全性を向上させ、災害に強いまちづくりを推進するために、ブロック塀の除却費用を助成します。